

令和6年度 郡山第一中学校だより

いまから ここから

令和6年12月23日 第10号

郡山第一中学校生徒一人一人が、夢や目標に向かって「あきらめない」との強い思いをもち、今できることに一生懸命に取り組み、十五の春に美しい花を咲かせてほしいと思っています。でも、くじけそうになったとき、あきらめそうになったとき、「いまから、ここから」と、新たな気持ちで、新たな目標をつくって始めればいい、そんな願いを込めてこの題にしました。 文責 校長 新田泰尋

題字は、生徒会副会長さんに書いてもらいました。

2学期みんなよくがんばりました。

保護者の皆様のご支援・ご声援、本当にありがとうございました。

2学期も本当によく頑張りました。まず、市駅伝大会の大活躍が思い出されます。

運動部活動では3年生から2年生主体の新体制で臨んだ各種新人大会で、先輩から受け継いだ伝統、そして思いを胸に、夏休みから一生懸命練習に励んだ成果が実り、9月30日付け学校だより第7号でもご紹介したように、たくさんの部活動で上位に食い込む結果を出す大活躍でした。全校集会で、立派な賞状を抱え、受賞報告をしている選手の皆さんの姿は、先生方や先輩への感謝の気持ちを表すとともに、堂々としていました。その後の県中大会や県大会の結果は、ホームページでも紹介をしておりましたが、どの部活動も最後の最後まで、諦めず試合に臨んでいたという報告を受けております。

また、音楽では合唱部、吹奏楽部の大会が行われ、いずれも練習の成果を十分発揮し、美しい演奏を披露したとともに、聞いてくださる皆様に感謝の思いを込めて演奏することができました。その結果、両部とも全国大会で輝かしい成績を残したことはご存知のとおりです。

学校行事ではなんとといっても開桜祭、合唱祭。10月31日付け学校だより第8号でもご紹介したように、実行委員会、生徒会が中心となって、全校生徒が一体となって盛り上げ、成功させることができました。コンクールが控えている中、吹奏楽部や合唱部の皆さんも文化祭を大いに盛り上げてくれました。全校生徒が一丸となって創り上げた文化祭、あの感動は今でも忘れません。文化祭の最後に、生徒会役員の引継ぎ式が行われ、これから本格的に新体制の生徒会が始動いたします。

さらに、多くの皆さんが市造形展・県造形審査会、少年の主張、各種書道・作文・おべんとうコンクール等に応募し、各賞を受賞することができました。応募した皆さんの意欲と粘り強く取り組む姿勢、質の高さを感じました。本当に、皆さんの一つ一つの大活躍、誇りに思います。

郡山一中生の伝統は、「与えられた環境の中で、最後まであきらめず一生懸命取り組むこと」です。

「一中一割」。これは、いつも私が全校集会などで生徒の皆さんにお話している言葉です。

「郡山市の中学生の約一割が郡山一中生。郡山市にいる多くの郡山一中の先輩方はこの伝統を受け継ぎ、素晴らしい歴史と文化を創り上げてきた。『一中一割』の皆さんが、何事にも正面から向き合って、最後まであきらめずにこの学校でやってきたことに自信と誇りをもって卒業し、郡山市にいる多くの郡山一中の卒業生とネットワークを組んで、郡山をリードしてほしい。」

このような願いを込めて、私はいつもこの言葉で全校生徒を励ましています。

まさに、この2学期は、「一中一割」の皆さんが、郡山一中の伝統「与えられた環境の中で、最後まであきらめず、一生懸命取り組む」姿勢を、しっかりと受け継ぎ、実行してきた学期といえるのではないかと思います。

これもひとえに、保護者の皆様のご支援・ご声援の賜物です。本当にありがとうございます。これからも変わらぬご理解とご協力、そしてご支援・ご声援をよろしく願いいたします。

吹奏楽部、合唱部予選通過。その他各賞をいただきました。

新体制になった吹奏楽部、合唱部も頑張っています。その他各賞受賞の結果も併せて紹介します。

吹奏楽部・・・福島県アンサンブルコンテスト

木管八重奏、金管八重奏、管打八重奏いずれも金賞（東北大会出場）

合唱部・・・福島県声楽アンサンブルコンテスト

中学生の部：金賞・福島県教育長賞、総合成績：テレビユー福島賞（全国大会出場）

令和6年度「ふくしま絆ふれあい支援事業福島を十七字で奏でよう」

優秀賞（1年男子とのお母様）、奨励賞（3年男子とのお母様）